

【別紙様式 3】

再評価実施事業調査書

番号	7	事業名	広域河川改修事業		路線又は箇所名等		(二) 矢那川		
事業所管課		河川整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	昭和 63 年	用地着手年度	昭和 63 年	工事着手年度 工事終了認可年度	昭和 63 年 平成 35 年	再評価の理由	⑥		
費用便益比 B/C	3.5	総費用	57 億円	総便益	200 億円	基準年	平成 21 年	供用開始 年度	

【事業概要】

(目的)

矢那川は、木更津市の中心街を流れており、沿川でたびたび浸水被害が発生している。また、流域の都市化の進行による洪水の流出量も増加していることから、河川改修を実施し、木更津市中心街をはじめとする沿川地域の洪水被害を防止する。

(主な実施内容)

- ・掘削 10,800m³
- ・道路橋 2 橋
- ・護岸 1,960m
- ・鉄道橋 1 橋

【事業の進捗状況】

	全体計画 (億円)	投資事業費 (億円)	進捗率 (%)
全 体	81.0	15.1	19
工 事	80.0	14.6	18
用 地	1.0	0.5	50

【社会経済情勢等】

①流域状況

矢那川は木更津市草敷付近に源を発し、矢那・金谷を流下して太田地先で右支川の平川（二級河川）を合流した後、木更津市中心街を貫流して東京湾に注ぐ流路延長 13.6km、流域面積 34.38km²の二級河川である。流域の市街化率は約 23%に達しており、本事業区間周辺には特に家屋等が集中しているため、大きな被害の発生が予想される。

②事業の実施

本事業は密集市街地における河川整備事業であるため、現用地内での改修を基本とし、現堤防内で計画規模の流量を安全に流下できる計画とする。

③主な水害状況

- ・昭和 57 年 9 月 (台風 18 号)
- ・平成 8 年 9 月 (台風 17 号)
- 浸水家屋 103 戸
- 浸水面積 10ha
- 浸水家屋 床上 2 戸・床下 6 戸

④投資効果

- ・浸水家屋：910 戸
- ・浸水面積：69ha

⑤その他

(関連事業)

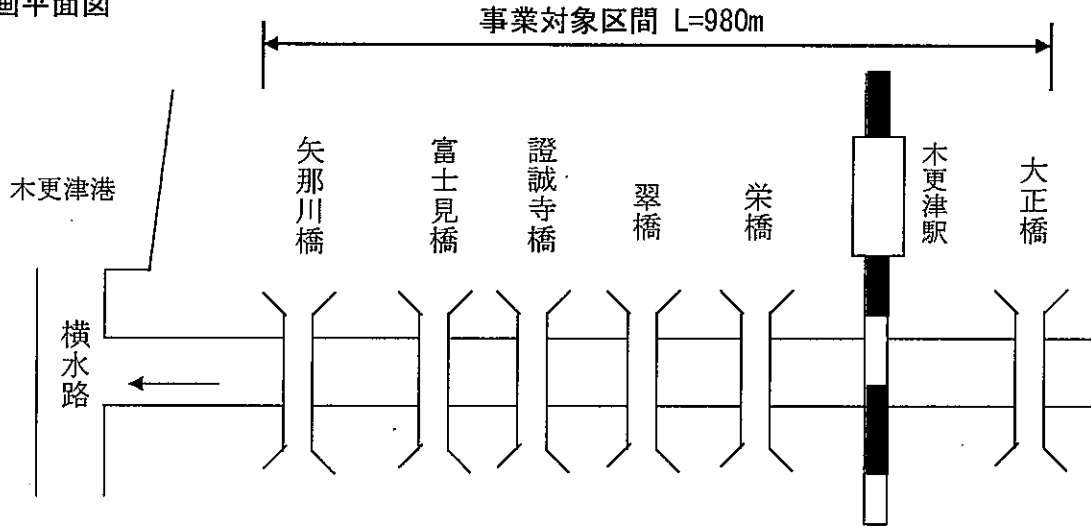
- ・土地区画整備事業 (請西Ⅱ・Ⅲ地区) H3~H13
- ・中尾・伊豆島土地区画整備事業 H4~
- ・上総研究学園都市開発 S63~

【対応方針 (案)】 事業継続とする。

事業概要図

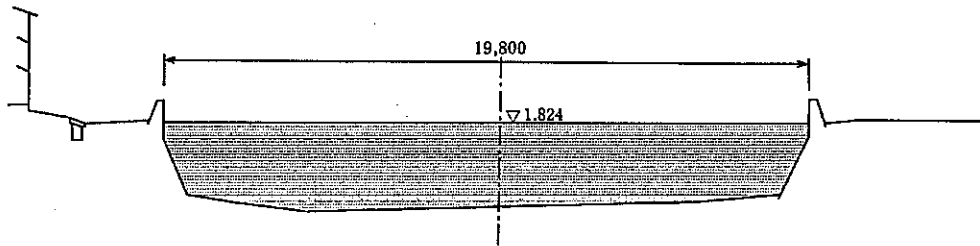
番号	7	事業名	広域河川改修事業	路線又は 箇所名等	(二) 矢那川
----	---	-----	----------	--------------	---------

計画平面図

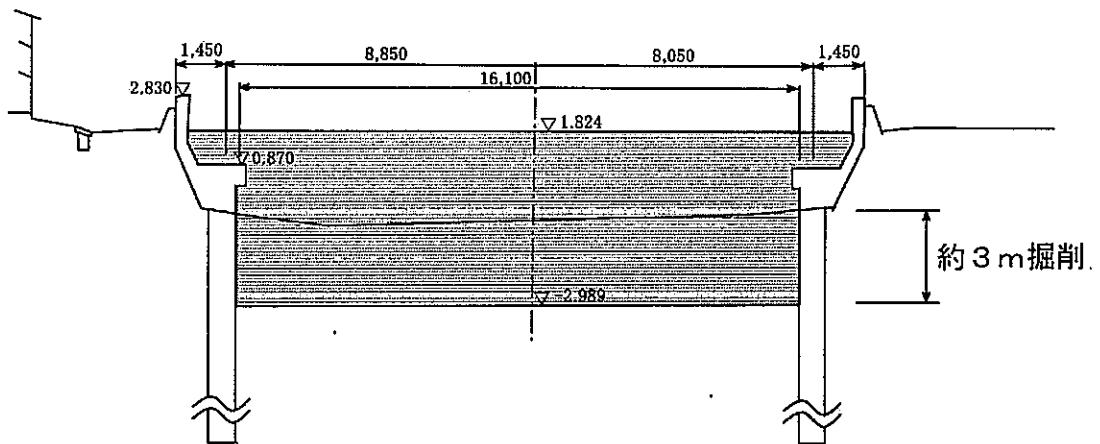


代表断面図

改修前



改修後



(川底を掘削して流下能力を約2倍にする。)

再々評価事業に関する調書

番号	7	事業名	広域河川改修事業	路線又は箇所名等	(二) 矢那川	
事業化年度	昭和63年	用地着手年度	昭和63年	工事着手年度	昭和63年	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成16年度	供用開始年度		対応方針	継続	
B/C	3.9	総費用	68億円	総便益	263億円	
再評価時の委員会の意見 及び当時の状況 ※ 委員会としての意見は特になし。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定5年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況	5年後の想定進捗状況			
全体事業費	81億円	7.6億円(9%)				
用地取得面積	16,000㎡	6,400㎡(40%)				
供用面積(延長)	980m	0m(0%)				
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成21年度	供用開始年度		対応方針	継続	
B/C	3.5	総費用	57億円	総便益	200億円	
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況				
全体事業費	81億円	15.1億円(19%)				
用地取得面積	16,000㎡	8,500㎡(53%)				
供用面積(延長)	980m	0m(0%)				
再評価後の経過及び処理状況						